

# 与那原町庁舎建設検討委員会

## 第2回 会議資料

### 目 次

|                         |         |
|-------------------------|---------|
| 1. 新庁舎建設位置について          | -----1  |
| (1) 候補地評価の視点            | -----1  |
| (2) 候補地位置図              | -----2  |
| (3) 候補地の現状把握と評価比較       | -----3  |
| (4) A・B候補地人口比重          | -----4  |
| (5) 本庁舎に関する住民アンケート調査    | -----5  |
| (6) 住民説明会（アンケート）実施状況報告書 | -----15 |
| (7) パブリックコメント 実施状況報告書   | -----17 |

## 1. 新庁舎建設位置について

### (1) 候補地評価の視点

新庁舎の候補地は、地方自治法（第4条第2項）※の規定に則し、行政業務をはじめ、住民の利便性や防災時の対応、経済性等を総合的に勘案し、まちづくりの拠点としての役割を果たせる場所とする必要があります。

3候補地においては、①まちづくり ②環境保全 ③機能性と利便性 ④防災拠点 ⑤経済性 ⑥都市計画（用途地域） の6つの視点で考察し、評価・比較を行います。

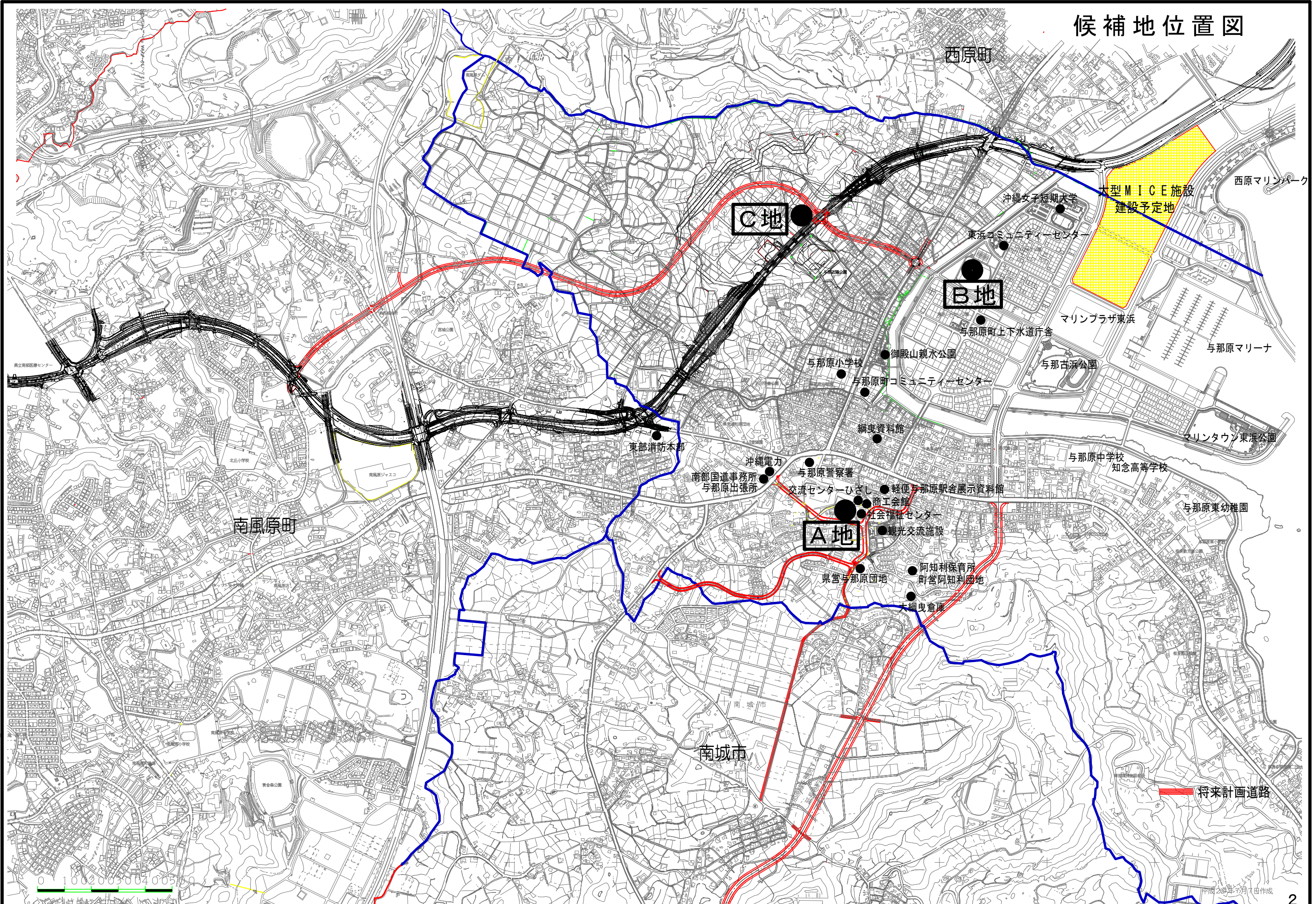
#### 【建設候補地選定の視点】

|                  |                                                                                                 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① まちづくり          | 都市基盤の整備は基より、庁舎周辺地域の活性化やまちづくりの拠点としてふさわしい位置に立地することが望まれます。                                         |
| ② 環境保全           | 自然環境に配慮し、周辺との調和が図られる位置に立地することが望まれます。                                                            |
| ③ 機能性と利便性        | 住民アンケートから得られた意見を参考に、来庁者にとっての利便性や周辺施設との連携等を考慮し、総合的に利便性の高い位置とすることが望まれます。                          |
| ④ 防災拠点           | 災害復旧時の対応、他公共機関との連携が図られる位置とすることが望まれます。与那原町災害ハザードマップ（資料5）及び与那原町総合防災支援ハンドブック（資料6）より、災害時の安全性を確認します。 |
| ⑤ 経済性            | 事業費や需要のバランスを考え、費用対効果の高い事業を進められる位置とすることが望まれます。                                                   |
| ⑥ 都市計画<br>（用途地域） | 用途地域より、容積率や建ぺい率を確認します。                                                                          |

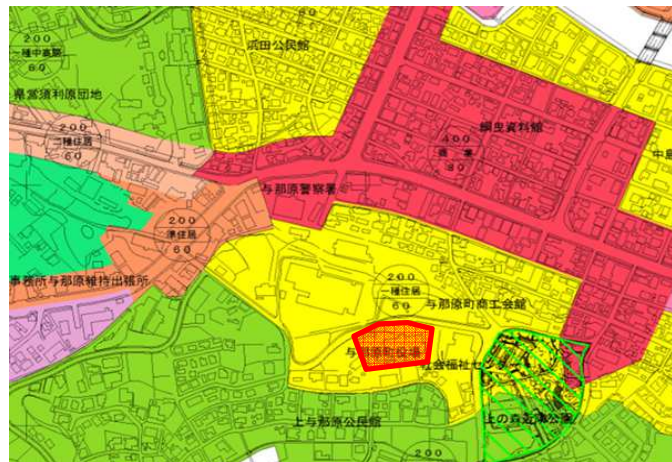
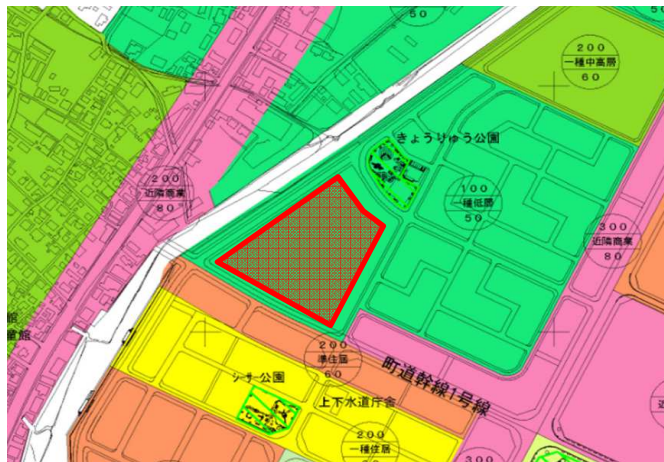
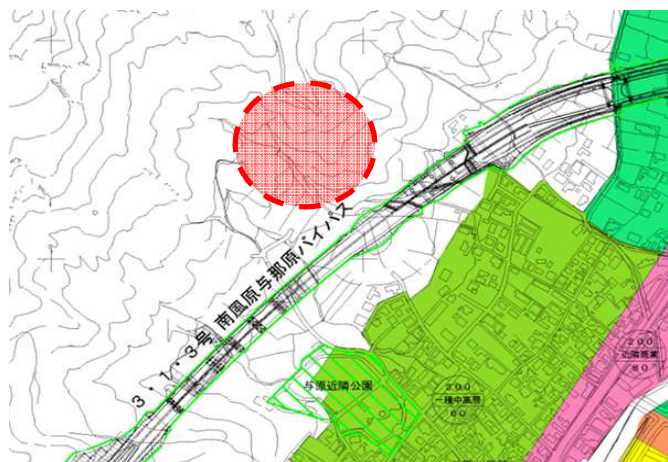
#### ※地方自治法（第4条第2項）

地方自治体の事務所の位置を定め又はこれを変更するに当たっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。

# 候補地位置図



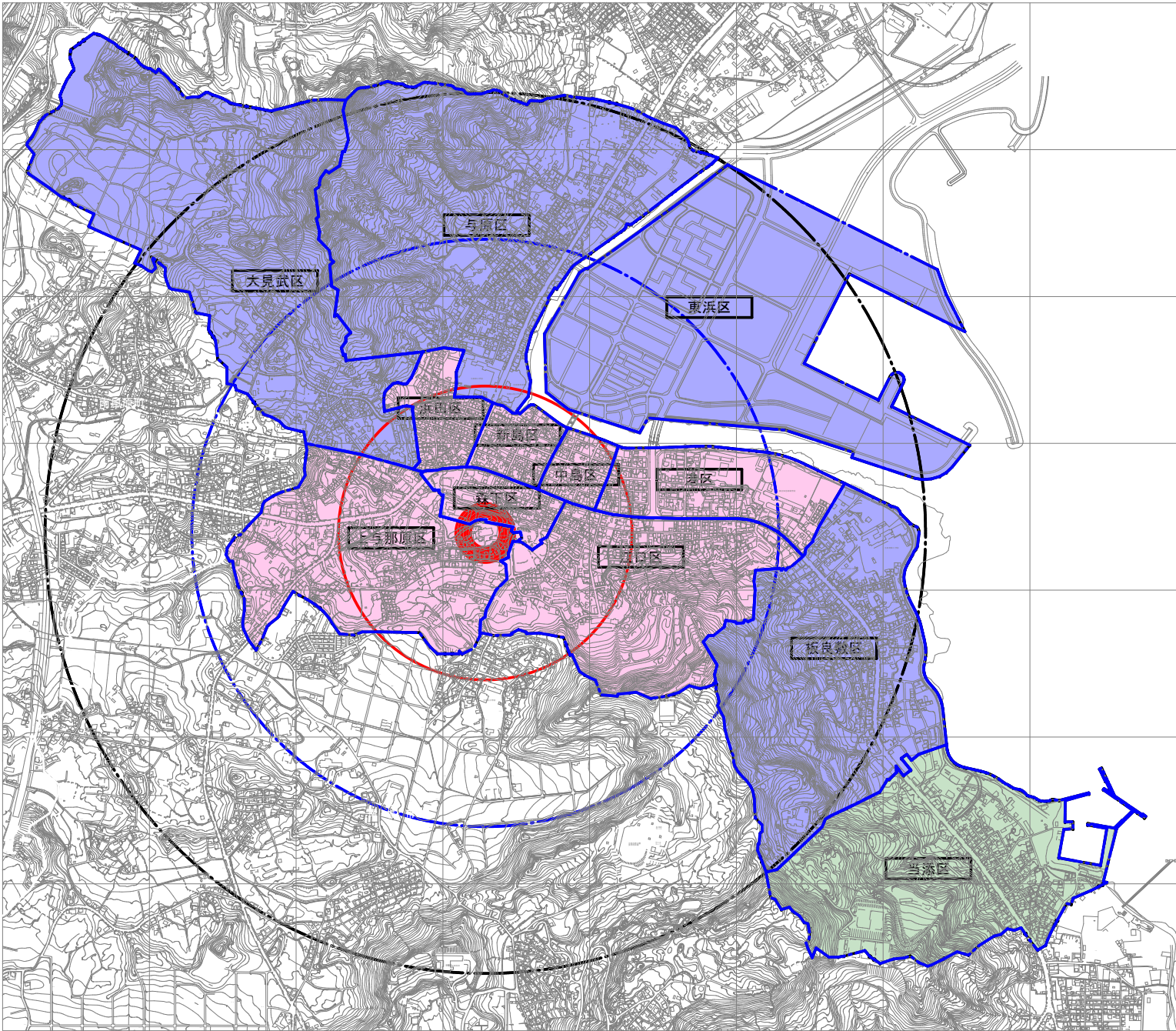
# 候補地の現状把握と評価比較

|               | A地(現在地周辺/上与那原区・森下区)<br>10,646.24㎡                                                                     |  | B地(マリントウン/東浜区)<br>22,754.00㎡                                                                                       |  | C地（バイパス周辺/与那原区）                                                                                                                  |  |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 候補地           |                     |  |                                 |  |                                               |  |
| ①まちづくり        | 従来の町との関係が続けることができる。<br>社会福祉センター、交流センターひざし、観光交流施設、商工会館等があり、連携が望める。<br>既成市街地の発展に寄与すると共に、今後の市街地再整備の核となる。 |  | ◎ A地と比較すると人通りの多い地域である。<br>◎ 国際規模の学会やコンサート等に対応できる大型MICE施設が2020年以降に開業予定。<br>今後さらに人通りの増加が予想されるが、反面、周辺道路の交通渋滞対策が課題となる。 |  | ◎ 周辺施設はないが今後、道路の開通により発展する可能性のある地域である。<br>◎ 国道と那原バイパスの整備が行われる等（平成30年度一部供用開通予定）、広域的な道路網の整備が進められている。<br>民間主導の開発となるため、スケジュールが不明確である。 |  |
| ②環境保全         | 周辺建物の町並み、景観の保全に対して配慮が必要。                                                                              |  | ○ 住居地域では、秩序ある緑豊かな潤いある住環境の保全が必要である。                                                                                 |  | ○ 山林・原野なので、環境・景観を含め開発に十分な検討が必要である。                                                                                               |  |
| ③機能性・利便性      | 現在地周辺の為、利用者の認知度が高い地域です。<br>高台（海拔22m）に位置し、徒歩及び自転車使用は不便との意見がある。                                         |  | ◎ 国道329号及び県道糸満与那原線が近接し、交通アクセスが容易である。<br>◎ 周辺地が平坦地（海拔3m）により、徒歩及び自転車使用の方にもアクセスが容易である。                                |  | ◎ 高台にあるため、徒歩及び自転車等を使用する方にとって不便となる可能性がある。                                                                                         |  |
| ④防災拠点性        | 地 震：想定最大震度は6弱<br>津 波：海拔約22m 津波浸水予想区域には非該当<br>液状化：液状化危険度は「かなり低い」となっている<br>地滑り：警戒区域非該当                  |  | ◎ 地 震：想定最大震度は6強<br>津 波：海拔約3m 津波浸水深「2～5m未満」<br>液状化：液状化危険度は「高い」となっている。<br>地滑り：警戒区域非該当                                |  | △ 地 震：想定最大震度は6弱<br>津 波：海拔約40m以上 津波浸水予想区域には非該当<br>液状化：液状化危険度は「かなり低い」となっている<br>地滑り：周囲に該当箇所が有り地すべり警戒区域に該当                           |  |
| ⑤経済性          | 現庁舎を取り壊した後で建設を行う場合、仮庁舎が必要となり、工事期間における影響検討が必要である。                                                      |  | △ 仮庁舎が不要で、工事期間中の影響に対し検討容易。<br>津波対策としてピロティ等を設ける必要が有るなど、工事費用の割増が懸念される。                                               |  | ◎ 仮庁舎が不要で、工事期間中の影響に対し検討容易。<br>民間開発地のため、用地の購入が必要となる。インフラ整備も含めた開発となることから、造成工事に時間がかかる。                                              |  |
| ⑥都市計画（用途地域）   | 第一種住居地域の場合<br>容積率200% 建ぺい率60%<br>庁舎（事務所）を建築する場合、延床面積3,000㎡以下の制限があるが、建築基準法48条但し書きでの建築可能。               |  | ○ 第一種低層住居専用地域の場合<br>容積率100%、建ぺい率50%<br>本用途地域には庁舎（事務所）は建築できない。（建築基準法48条但し書きでの対応可）                                   |  | ○ 市街化調整区域の場合（市街化を抑制すべき区域）<br>建築物を建築する場合は開発許可が必要。                                                                                 |  |
| ⑦庁舎外使用可能面積の算定 | 敷地面積 容積率 建築可能面積<br>10,646㎡ x 200% = 21,292㎡<br>建築可能面積 庁舎想定面積 使用可能面積<br>21,292㎡ - 7,200㎡ = 14,092㎡     |  | 敷地面積 容積率 建築可能面積<br>22,754㎡ x 100% = 22,754㎡<br>建築可能面積 庁舎想定面積 使用可能面積<br>22,754㎡ - 7,200㎡ = 15,554㎡                  |  | ○                                                                                                                                |  |

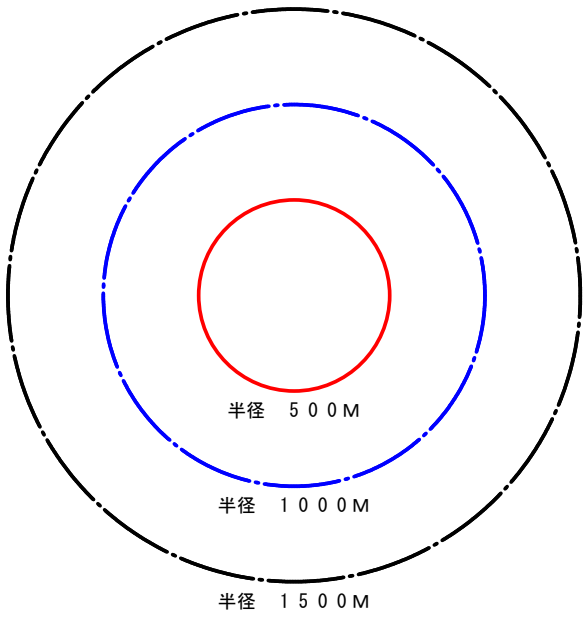
3

候補地人口比重

A 候補地 （現在地周辺 / 上与那原区・森下区）

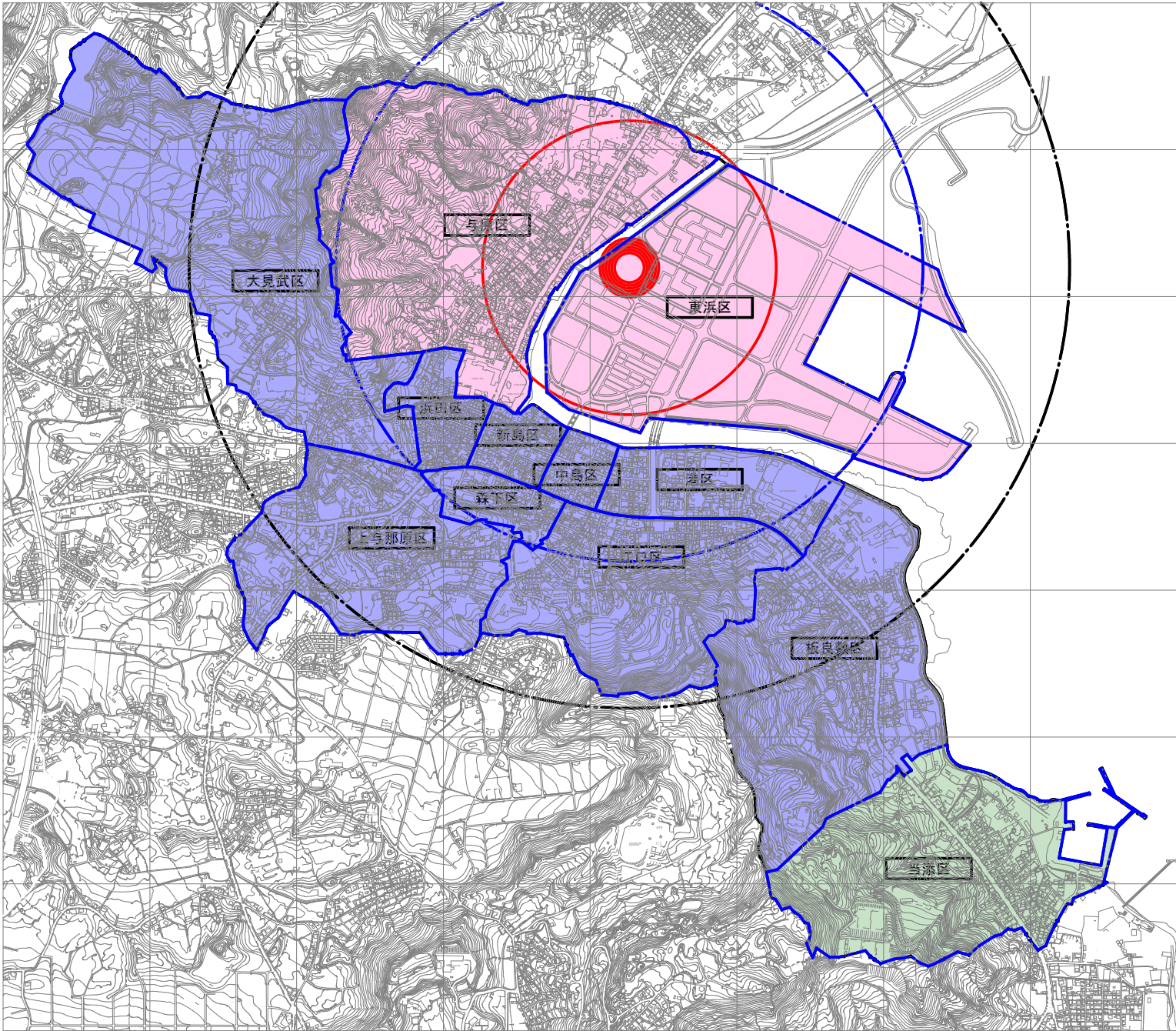


0 100 200 400 1:10,000 600 800 1000m

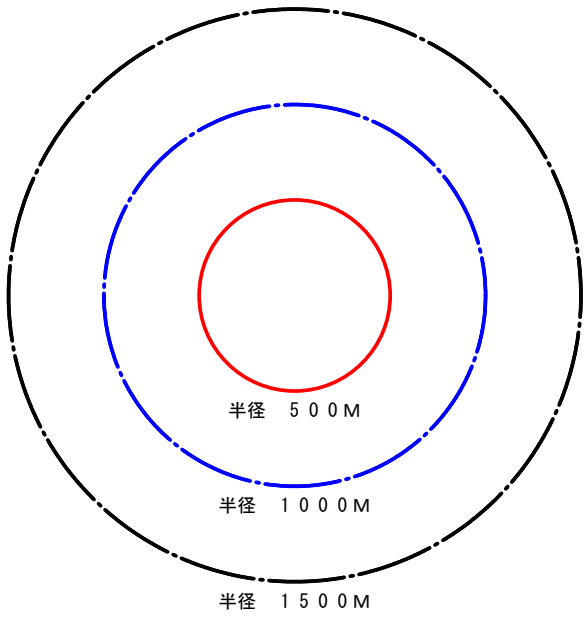


| 行政区名  | 男性    | 女性     | 計      | 500M圏 | 1000M圏 | 1500M圏 |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 当添    | 780   | 852    | 1,632  |       |        |        |
| 板良敷   | 1,129 | 1,135  | 2,264  |       |        | 2,264  |
| 港     | 509   | 520    | 1,029  | 1,029 | 1,029  | 1,029  |
| 江口    | 866   | 951    | 1,817  | 1,817 | 1,817  | 1,817  |
| 中島    | 246   | 265    | 511    | 511   | 511    | 511    |
| 新島    | 353   | 381    | 734    | 734   | 734    | 734    |
| 森下    | 180   | 205    | 385    | 385   | 385    | 385    |
| 浜田    | 396   | 397    | 793    | 793   | 793    | 793    |
| 与那原   | 1,439 | 1,470  | 2,909  |       | 2,909  | 2,909  |
| 大見武   | 424   | 374    | 798    |       | 798    | 798    |
| 上与那原  | 864   | 911    | 1,775  | 1,775 | 1,775  | 1,775  |
| 町営住宅  | 126   | 146    | 272    | 272   | 272    | 272    |
| 県営住宅  | 108   | 179    | 287    | 287   | 287    | 287    |
| 須利原団地 | 73    | 109    | 182    |       | 182    | 182    |
| 日の出園  | 13    | 57     | 70     | 70    | 70     | 70     |
| 東浜    | 1,989 | 2,081  | 4,070  |       | 4,070  | 4,070  |
| 合 計   | 9,495 | 10,033 | 19,528 | 7,673 | 15,632 | 17,896 |

B 候補地 （マリンタウン / 東浜区）



0 100 200 400 1:10,000 600 800 1000m



| 行政区名  | 男性    | 女性     | 計      | 500M圏 | 1000M圏 | 1500M圏 |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 当添    | 780   | 852    | 1,632  |       |        |        |
| 板良敷   | 1,129 | 1,135  | 2,264  |       |        | 2,264  |
| 港     | 509   | 520    | 1,029  |       | 1,029  | 1,029  |
| 江口    | 866   | 951    | 1,817  |       | 1,817  | 1,817  |
| 中島    | 246   | 265    | 511    |       | 511    | 511    |
| 新島    | 353   | 381    | 734    |       | 734    | 734    |
| 森下    | 180   | 205    | 385    |       | 385    | 385    |
| 浜田    | 396   | 397    | 793    |       | 793    | 793    |
| 与那原   | 1,439 | 1,470  | 2,909  | 2,909 | 2,909  | 2,909  |
| 大見武   | 424   | 374    | 798    |       | 798    | 798    |
| 上与那原  | 864   | 911    | 1,775  |       |        | 1,775  |
| 町営住宅  | 126   | 146    | 272    |       | 272    | 272    |
| 県営住宅  | 108   | 179    | 287    |       | 287    | 287    |
| 須利原団地 | 73    | 109    | 182    |       | 182    | 182    |
| 日の出園  | 13    | 57     | 70     |       | 70     | 70     |
| 東浜    | 1,989 | 2,081  | 4,070  | 4,070 | 4,070  | 4,070  |
| 合 計   | 9,495 | 10,033 | 19,528 | 6,979 | 13,857 | 17,896 |

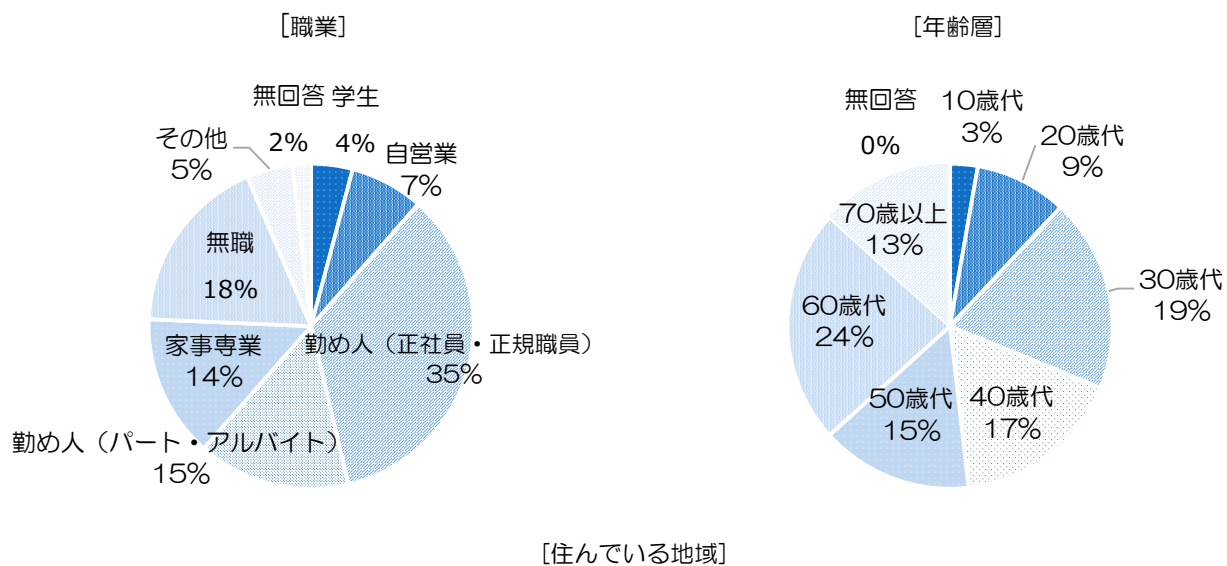
## 本庁舎に関する住民アンケート調査

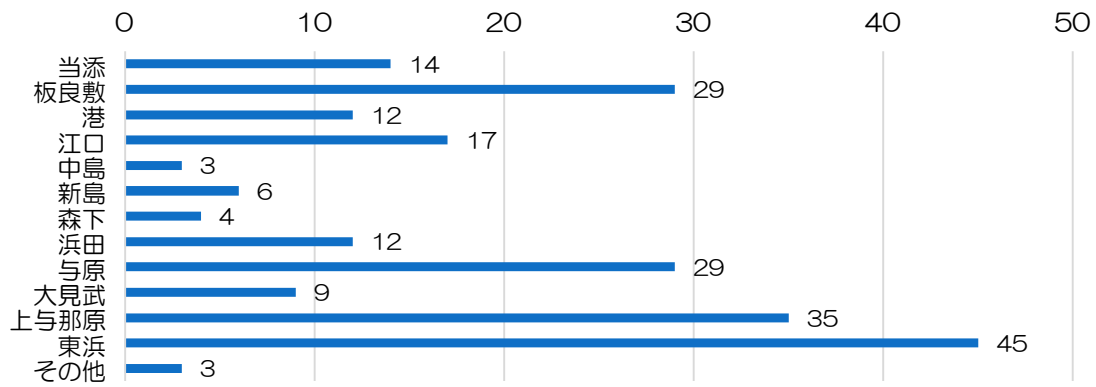
平成 28 年 8 月実施した「与那原町公共施設等総合管理計画策定事業に関する町民アンケート調査」のうち、本庁舎に関する質問について抽出しました。

### (1) 住民アンケート調査の概要

| 項目    | 内容                        |
|-------|---------------------------|
| 調査時期  | 平成 28 年 8 月 15 日～8 月 31 日 |
| 調査対象  | 住民基本台帳から無作為抽出             |
| 調査方法  | 郵送配布（1,000 通）             |
| 回収数   | 219 通（回収率 21.3%）          |
| 有効回答数 | 218 通（1 通は白紙のため無効）        |

### アンケート回答者について

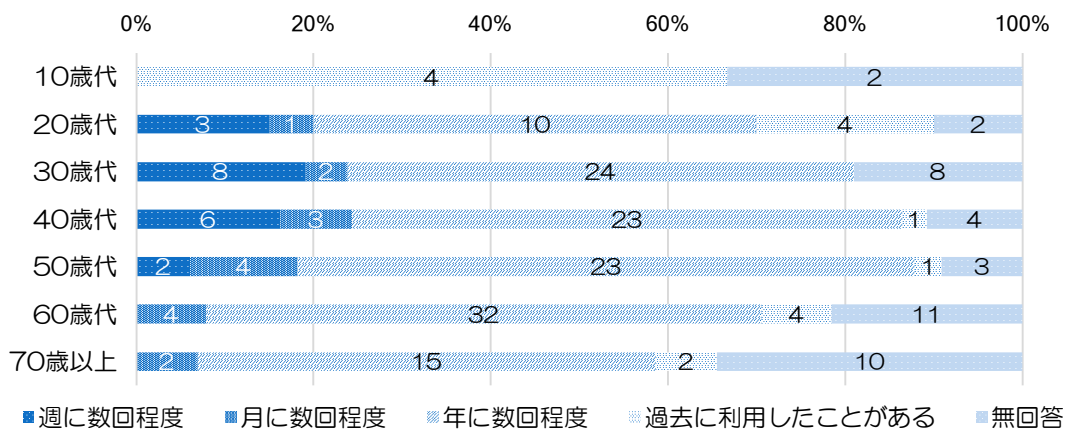




回答者 218 人 回答 218 件（無回答なし）

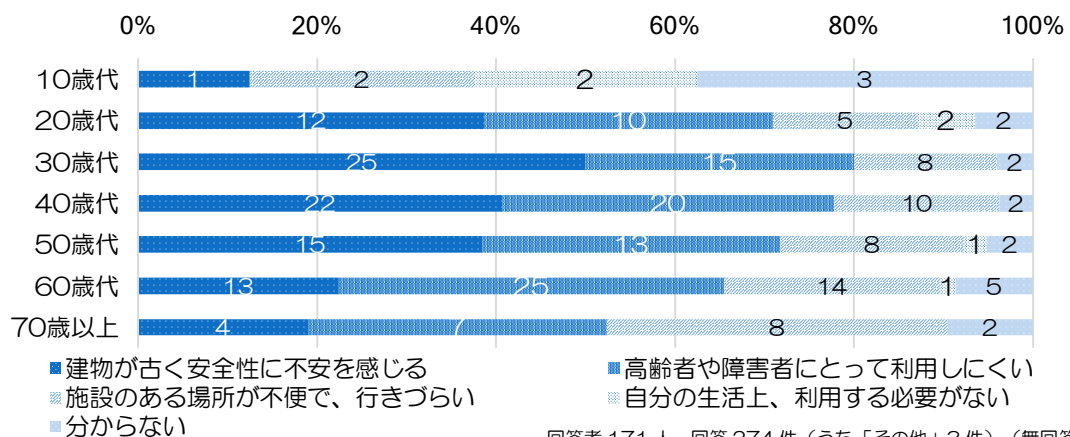
## (2) 調査結果

【問 1】直近 1 年間に本庁舎をどの程度利用していますか。



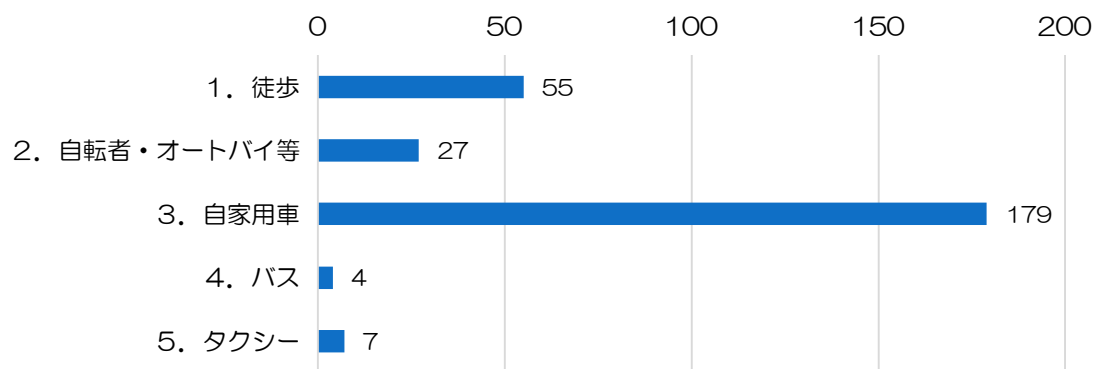
回答者 218 人 回答 218 件（無回答なし）

【問 2】本庁舎の施設面や機能についてどのように感じますか。（複数回答可）



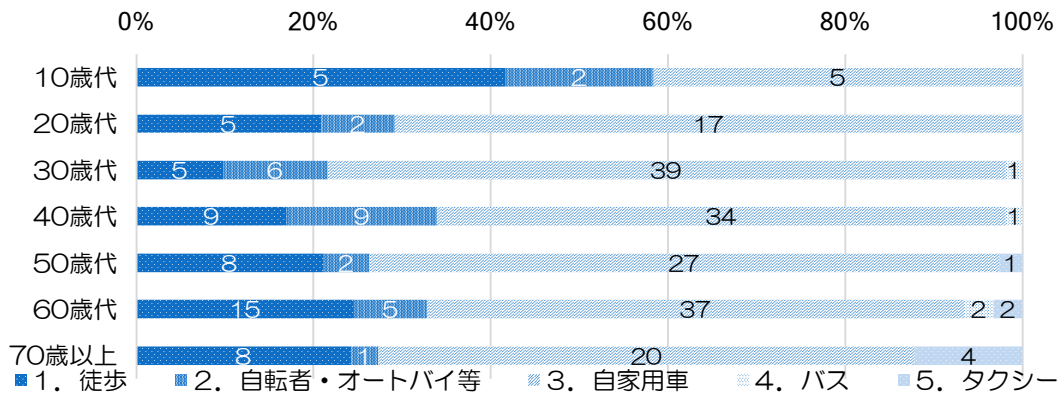
回答者 171 人 回答 274 件（うち「その他」3 件）（無回答 47 件）

【問 3】本庁舎を利用したことがある方に伺います。本庁舎までの移動手段について、あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



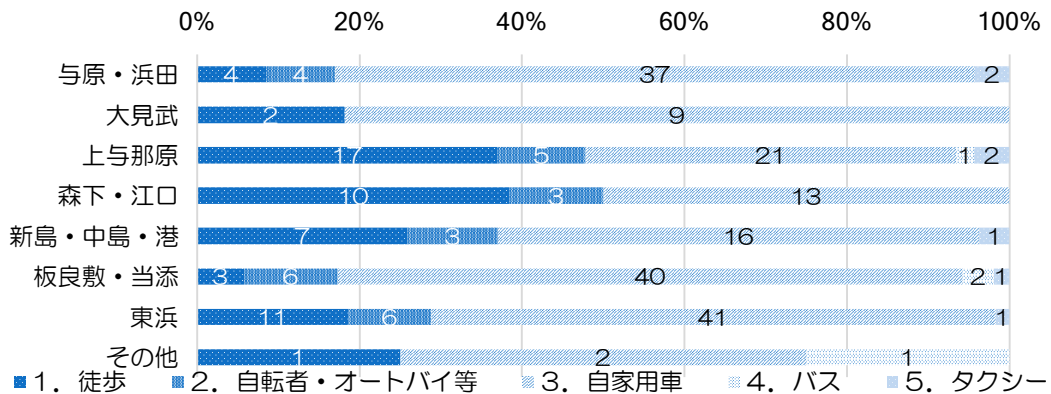
回答者 211 人 回答 273 件（うち「その他」1 件）（無回答 7 件）

[年齢層別]



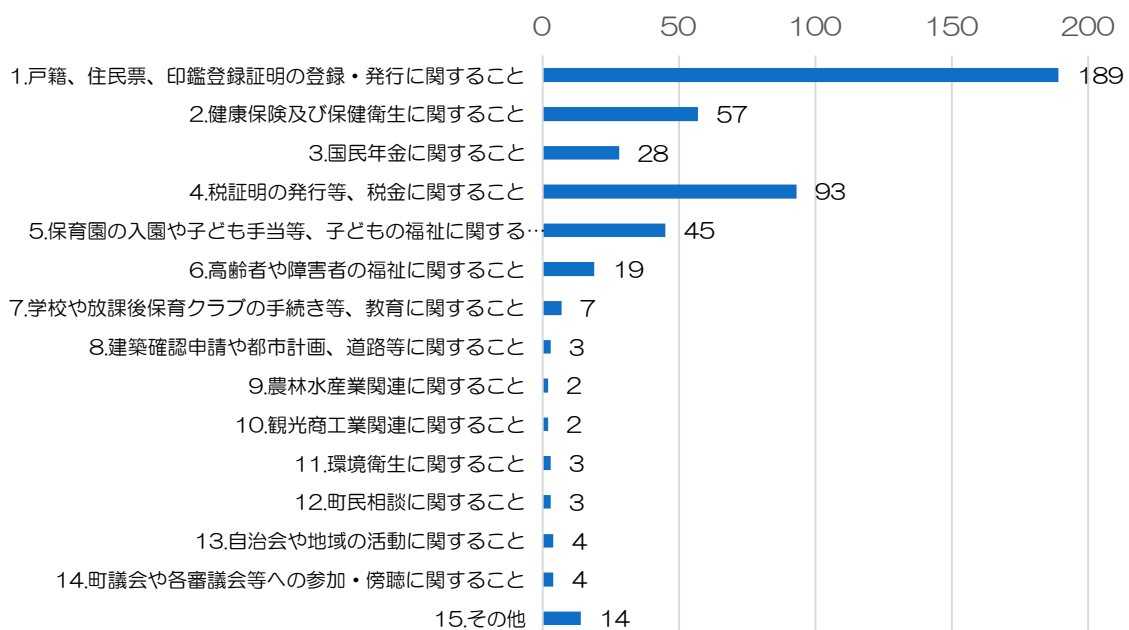
回答者 211 人 回答 273 件 (うち「その他」1 件) (無回答 7 件)

[居住地域別]



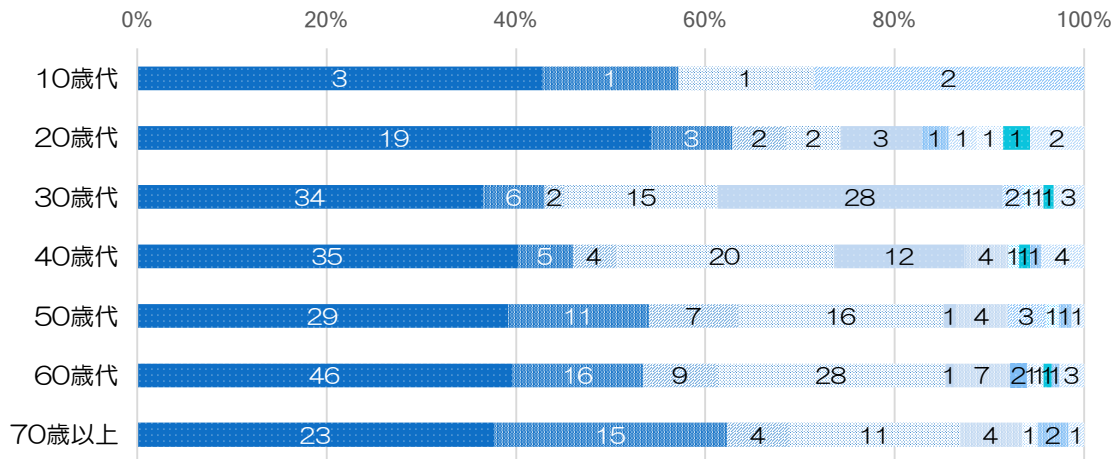
回答者 211 人 回答 273 件 (うち「その他」1 件) (無回答 7 件)

【問 4】主にどのような用件で本庁舎に訪れますか。(最大 3 つまで選択)



4 つ以上選択の場合も全て回答に含む  
回答者 209 人 回答 473 件 (無回答 9 件)

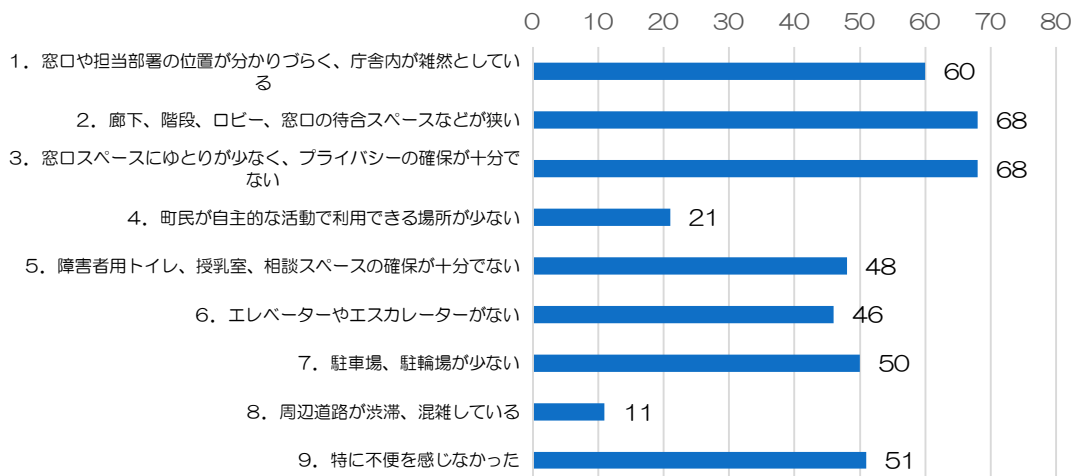
[年齢層別]



- 1.戸籍、住民票、印鑑登録証明の登録・発行に関すること
- 2.健康保険及び保健衛生に関すること
- 3.国民年金に関すること
- 4.税証明の発行等、税金に関すること
- 5.保育園の入園や子ども手当等、子どもの福祉に関すること
- 6.高齢者や障害者の福祉に関すること
- 7.学校や放課後保育クラブの手続き等、教育に関すること
- 8.建築確認申請や都市計画、道路等に関すること
- 9.農林水産業関連に関すること
- 10.観光商工業関連に関すること
- 11.環境衛生に関すること
- 12.町民相談に関すること
- 13.自治会や地域の活動に関すること
- 14.町議会や各審議会等への参加・傍聴に関すること
- 15.その他

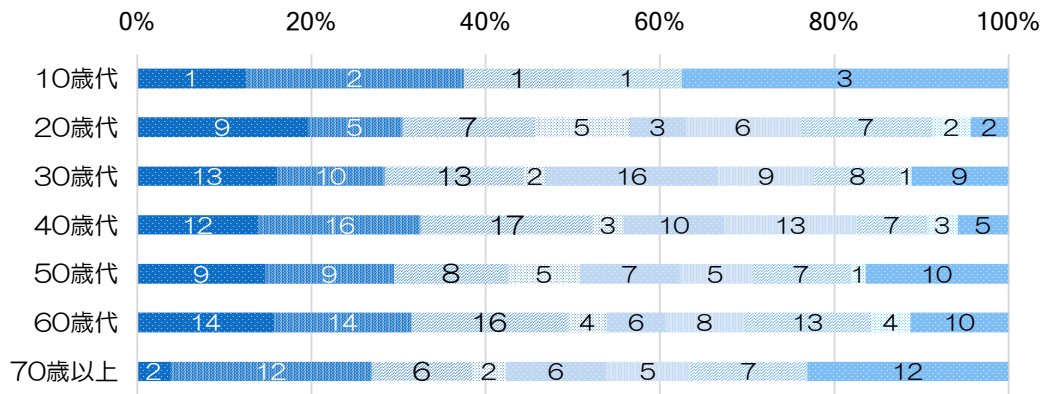
4 つ以上選択の場合も全て回答に含む  
回答者 209 人 回答 473 件（無回答 9 件）

【問 5】 本庁舎訪れて、主にどのようなことを不便に感じましたか。（最大 3 つまで選択）



4 つ以上選択の場合も全て回答に含む  
回答者 204 人 回答 457 件（うち「その他」34 件）（無回答 14 件）

[年齢層別]

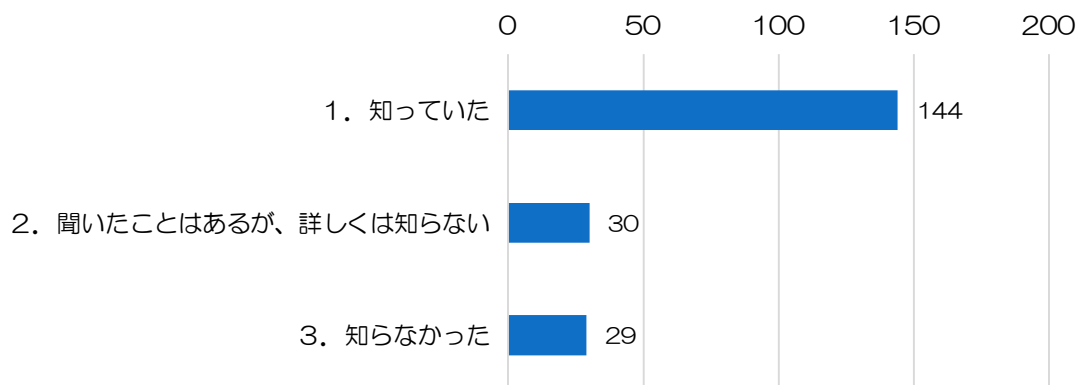


- 1. 窓口や担当部署の位置が分かりづらく、庁舎内が雑然としている
- 2. 廊下、階段、ロビー、窓口の待合スペースなどが狭い
- 3. 窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない
- 4. 町民が自主的な活動で利用できる場所が少ない
- 5. 障害者用トイレ、授乳室、相談スペースの確保が十分でない
- 6. エレベーターやエスカレーターがない
- 7. 駐車場、駐輪場が少ない
- 8. 周辺道路が渋滞、混雑している
- 9. 特に不便を感じなかった

4 つ以上選択の場合も全て回答に含む

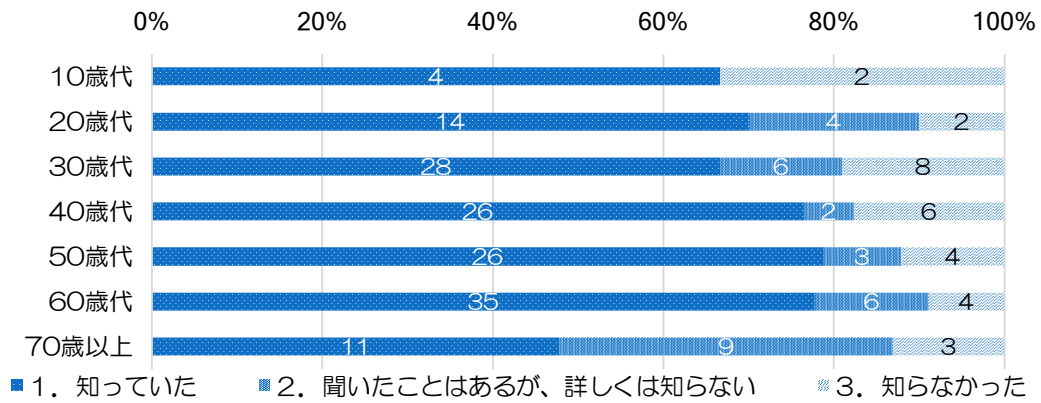
回答者 204 人 回答 457 件（うち「その他」34 件）（無回答 14 件）

【問 6】 東日本地震や熊本地震において、庁舎施設が被害を受けて使用できない例がありましたか、ご存知でしたか。（複数回答可）



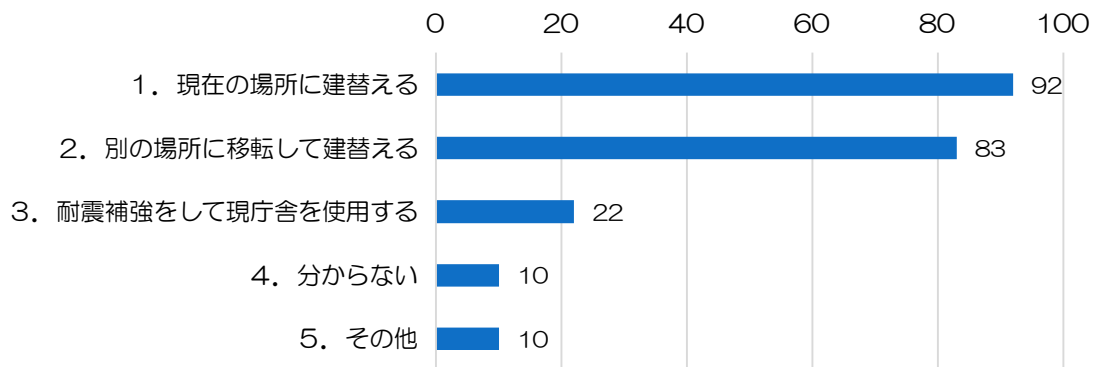
回答者 203 人 回答 203 件（無回答 15 件）

[年齢層別]



回答者 203 人 回答 203 件（無回答 15 件）

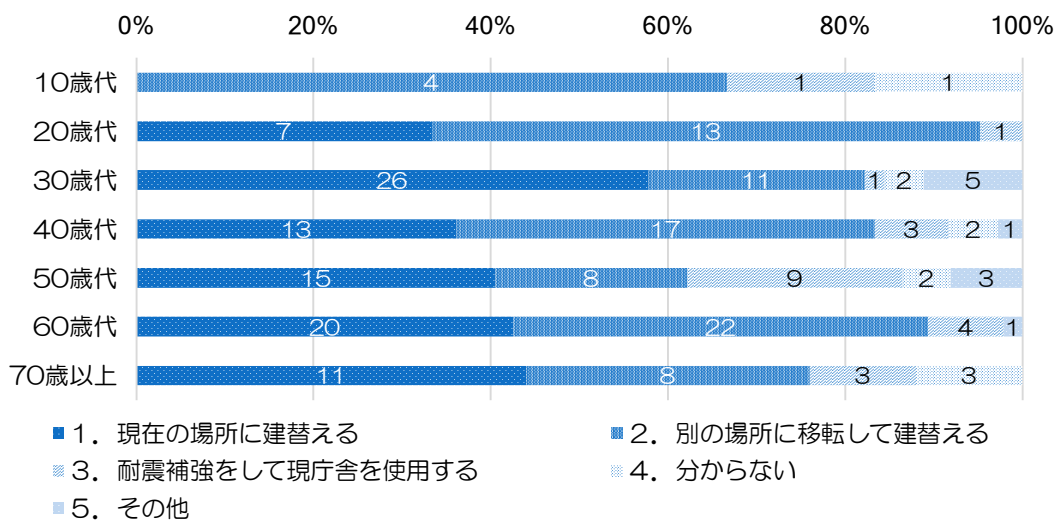
【問 7】本庁舎は昭和 50 年に建設され、築 41 年を経過しております。  
庁舎の安全確保のため今後の進め方についてご意見をお聞かせください。



複数回答あり

回答者 202 人 回答 217 件（無回答 15 件）

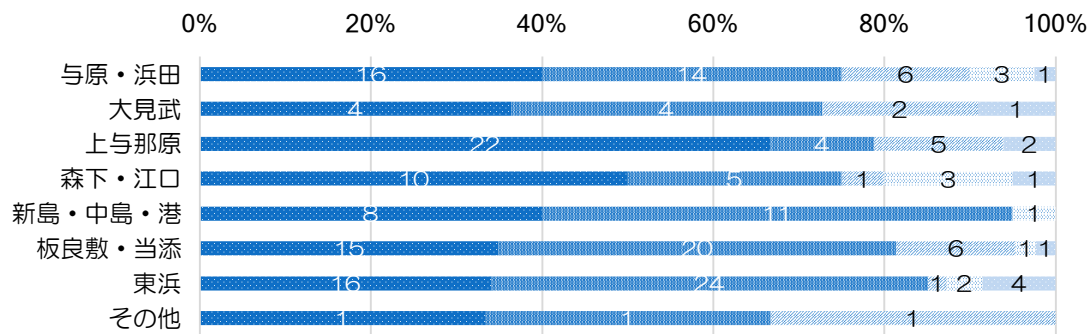
[年齢層別]



複数回答あり

回答者 202 人 回答 217 件（無回答 15 件）

[居住地域別]



- 1. 現在の場所に建替える
- 2. 別の場所に移転して建替える
- 3. 耐震補強をして現庁舎を使用する
- 4. 分からない
- 5. その他

複数回答あり

回答者 202 人 回答 217 件（無回答 15 件）

問 7 について 自由記述より一部抜粋

1. 現在の場所に建替える

- ☐ 津波の心配があるので高台がいいのでは？
- ☐ 現在の本庁舎の敷地は狭い。社会福祉センター敷地も含めて建替えしたほうがよい（センターは統合するか移転）建替えにあたっては利便性の確保（周辺道路等）に留意
- ☐ 高台に建っている。与那原町の中心にある。その二点を高条件として、同じ場所に将来は建て直してほしい
- ☐ 場所は移動すべきでない

2. 別の場所に移転して建替える

- ☐ 高台で交通の便が良い所。今よりは広い所。
- ☐ 本庁舎のある位置は利用度の高い場所にある方が理想的です。町民にやさしい町として！！
- ☐ 公共のバス停から徒歩 15 分圏内
- ☐ 東浜に作ったらいいと思う。公園の方に車をとめて行ける場所があれば便利
- ☐ 災害時には防災拠点となる事から、津波、土砂災害危険区域から外れた場所で検討すべきである

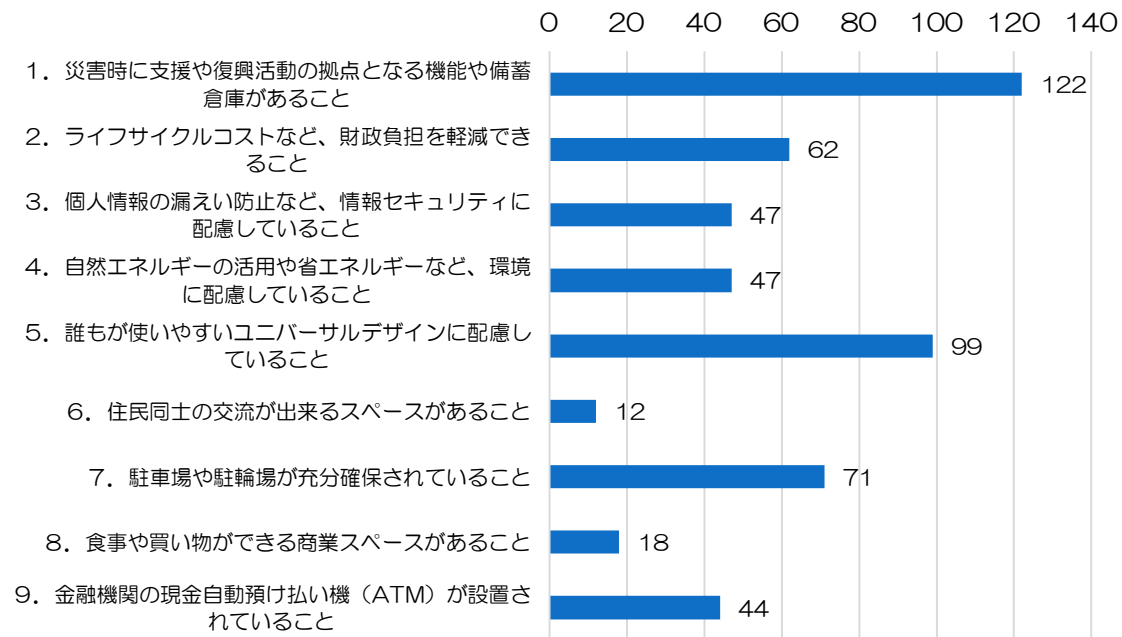
3. 耐震補強をして現庁舎を利用する

- ☐ 不便ではないので、基準をクリアできるならそのまま使用し、ムダな税金は使わず、他のサービスを充実させて、高い位置にある分、津波がきても安心。その前に小学校の建替え or 増築が必要では？
- ☐ 近くには観光交流施設や社会福祉センターもあるため、複合的に核施設の利用や役割を決め、財政的にあまりランニングコストがかからない運営をしてもらいたい。結局は財源が厳しくなると、本当に必要な分野に予算が充てられなくなり、町民にマイナスの影響が生じる。

5. その他

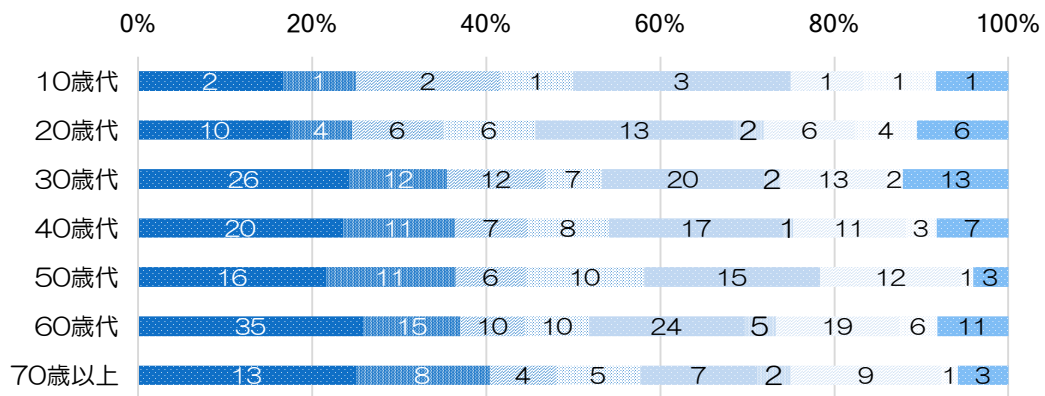
- ☐ 避難場所として考えると現在の場所で建て替えが良いと思うが、お年寄りが歩くには大変かなと思う
- ☐ 現在の場所にしても別にしても問題はそれをする事によって与那原の住民にどのような負担が課せられるのかを具体的に事前に知らされ納得した上で話でなければいけないのではないのでしょうか。
- ☐ 「建替え」とは「新築」であり、高額な税金投入となる。問 7 の不便を解決するのは新築にたよることなく知恵を出すべきである。

【問 8】これからの本庁舎に望む機能として、主にどのようなものが必要と感じますか。最大 3 つまで選択)



4 つ以上選択の場合も全て回答に含む  
回答者 175 人 回答 532 件（うち「その他」10 件）（無回答 43 件）

#### [年齢層別]



- 1. 災害時に支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫があること
- 2. ライフサイクルコストなど、財政負担を軽減できること
- 3. 個人情報の漏えい防止など、情報セキュリティに配慮していること
- 4. 自然エネルギーの活用や省エネルギーなど、環境に配慮していること
- 5. 誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮していること
- 6. 住民同士の交流が出来るスペースがあること
- 7. 駐車場や駐輪場が充分確保されていること
- 8. 食事や買い物ができる商業スペースがあること
- 9. 金融機関の現金自動預け払い機（ATM）が設置されていること

4 つ以上選択の場合も全て回答に含む  
回答者 175 人 回答 532 件（うち「その他」10 件）（無回答 43 件）

## 問 8 について その他自由記述一覧

### 選択肢回答の理由・補足

- ☐ モデル庁舎として他市町村からも見学に来るような最先端の建物を建ててほしい。
- ☐ 現場所が一番（高地）。「5. 誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮していること」は役所には必要ない。
- ☐ 災害時は与那原だけの話ではないので、別の施設として誰もが利用できる重要な備蓄倉庫を作るべきだと思います。
- ☐ 災害時避難場所としても利用できるようスペースの確保と場所は移転しない方がよい。

### 3 つ以上の回答及び理由

- ☐ 2, 3, 4, 5 はあたりまえの事。人の情報と税金とを取り扱っている以上役場の職員がこれは完全にするのはあたりまえです。
- ☐ その全てであるとも思うし、あたり前の様に思うが、それを実現する事の現実には最も難しい事だと思う。

### 選択肢外の本庁舎に望む機能の提案

- ☐ 「6. 住民同士の交流ができるスペースがあること」について。住民同士の交流スペースもそうですが、「勉強が出来る場所・スペース」もあると良いと思います。生涯教育の観点からも御検討よろしくお願いします。
- ☐ 町の人口が 2 万人台にまもなくふえます。十分な備え。道路整備。

### 庁舎の配置に関する内容

- ☐ 現庁舎は高台にあり、高齢者や障害者のことを無視した、役場職員のため、あるいは町長や三役が住民を見下ろすためのものとなっている。老朽化を契機に高齢者や障害者が利用しやすい、平地に役場を建設してもらいたい。
- ☐ 現庁舎は与那原の中央に位置し、交通的には便利である。災害時に支援や寝泊りできる場所（津波の場合大見武や上与那原になる）の機能性を高めてもらいたい。

### その他

- ☐ 「1. 災害時に支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫があること」について。町の現状がわからない。観光支援施設の活用もあるのか。
- ☐ 自然災害に備えることはとても重要なことですが災害を重視するあまり住民の日々の暮らしが不便になっては困ります。住民が気軽に行ける利用できる平地に庁舎を移転が望ましいが、財政負担等考えると現敷地周辺を含め環境整備を整え現在の場所に建替え、行政機能を強化し、住民のコミュニティーは同センターの強化や地域公民館を充実させ、住民の暮らしやすい活動しやすい環境をつくり自主防災組織の推進強化に力を入れてほしい。
- ☐ 職員駐車場はもっと遠くても可と思う。
- ☐ 新庁舎への道路が通行しやすいことが重要だと思います。
- ☐ 本庁舎を建替える事になるにしても極力住民に税金などの負担がない様に財政負担がないように配慮してもらいたい

与那原町公共施設等総合管理計画及び与那原町庁舎建設基本構想  
住民説明会（アンケート） 実施状況報告書

---

開催日     : 平成29年8月30日（水）午後7時～午後8時10分終了

開催場所   : 与那原町社会福祉センター 2F 大ホール

参加人数   : 町内：65名           町外：8名  
              参加者合計：73名

【アンケート結果】 総回答数：41名

1. あなたの年齢は

|        |      |      |      |      |
|--------|------|------|------|------|
| ①20歳未満 | ②20代 | ③30代 | ④40代 | ⑤50代 |
| 0      | 1    | 7    | 6    | 5    |
| ⑥60代以上 |      |      |      |      |
| 22     |      |      |      |      |

2. あなたの性別は

|     |     |
|-----|-----|
| ①男性 | ②女性 |
| 35  | 6   |

3. お住まいの行政区は

|     |      |      |       |          |     |     |
|-----|------|------|-------|----------|-----|-----|
| ①当添 | ②板良敷 | ③港   | ④江口   | ⑤中島      | ⑥新島 | ⑦森下 |
| 1   | 1    | 3    | 1     | 9        | 1   | 5   |
| ⑧浜田 | ⑨与原  | ⑩大見武 | ⑪上与那原 | ⑫県営・町営団地 | ⑬東浜 |     |
| 0   | 4    | 0    | 3     | 1        | 8   |     |
| ⑭町外 |      |      |       |          |     |     |
| 4   |      |      |       |          |     |     |

4. 公共施設等総合管理計画の説明は分かりやすかったですか

|                   |                  |
|-------------------|------------------|
| ①分かりやすかった         | ②どちらか言うとわかりやすかった |
| 17                | 20               |
| ③どちらかと言うと分かりにくかった | ④分かりにくかった        |
| 2                 | 2                |

5. 庁舎建設基本構想の説明は分かりやすかったですか

|                   |                  |
|-------------------|------------------|
| ①分かりやすかった         | ②どちらか言うとわかりやすかった |
| 18                | 21               |
| ③どちらかと言うと分かりにくかった | ④分かりにくかった        |
| 1                 | 1                |

6. 今回の住民説明会に参加して、公共施設等総合管理計画や庁舎建設基本構想に関して、理解は深まりましたか

|          |         |             |
|----------|---------|-------------|
| ①非常に深まった | ②やや深まった | ③あまり深まらなかった |
| 15       | 25      | 1           |

7. 公共施設等総合管理計画や庁舎基本構想等に関して、あなたが知りたいこと、疑問に思っていることはどんなことですか？

- ① 公共施設等総合管理計画について、新たな施設の利用方法等が住民によく知られていない。施設の利用方法、活用方法等のPRが必要と思われる。
- ② 役場をどこに決めるかは、交通（行きやすいように）、建設費（負担を軽く）などを十分に住民へ説明してから決めてもらいたい。国庫補助等の財源についても。
- ③ マネジメントの基本方針だけでは説明があまり分かりにくい。説明不足があると思う。もう少し詳しく知りたい。
- ④ 町としては3候補地のうち、どの候補地が最適なのかを知りたい。ある程度決まっているのではないのでしょうか。
- ⑤ 庁舎建設に賛成です。前向きにどんどん進めて下さい。
- ⑥ 近年、あちこちで災害が発生し対応が急務である。新庁舎には対策本部としての機能がどのようになるのか具体的に知りたい。
- ⑦ 現在地に造るとして、建設費に仮設役所の移転費・利用費等も含まれているのか。
- ⑧ 公共施設や庁舎は、利用しやすい方が良いので、上下水道課も含め、統合してほしい。
- ⑨ 東浜の候補地に新庁舎を造る場合、駐車スペース等はどう確保する予定でしょうか。周りの土地になる予定なのですか。
- ⑩ 建替えをするのであれば、実質的な負担が少ない市町村役場機能保全事業を選択して進めて欲しい。
- ⑪ 地方債利用にも、PFI利用にしてもメリット・デメリットがあるかと思うが、資金利用に関する説明が不明。また、実際に総合管理を行う内容について計画内容が不明。
- ⑫ 総合管理計画で町の所有の施設が具体的にどのような内容になっているのか不明。

#### 8. 説明会の感想、その他、ご意見等がありましたら、お書きください

- ① 数多くの意見を集めようとする議事進行は、大変良かったと思います。
- ② 庁舎建設と同時に庁舎に繋がる道路整備、特にオリオン通り等の庁舎周辺道路について検討してもらいたい。
- ③ 福祉センターから下った信号のない交差点から道路整備を含めてなんとかして欲しい。
- ④ 役場は町域の中心あたりがよい。つまり現所在地に道路の整備、駐車場などを整備しながら建設してほしい。
- ⑤ 急ぎ足での説明で、わかりにくかった。
- ⑥ 地方債を活用し、各プロの業者の方に発注した方が、今後、庁舎が完成した後の責任が明確になって良いのではないかと思います。
- ⑦ 大変良かった。
- ⑧ 今後もこの様な説明会を開いてほしい。
- ⑨ パワーポイントで説明すると、より分かりやすいのかと思いました。
- ⑩ 新庁舎建築の際に利益を生む作り方はないのか。
- ⑪ 庁舎と社会福祉センターの複合を望む。
- ⑫ 今回の説明会が概要版の要約だったので、説明意図がよく分からなかった。総合管理計画の中で周辺市町村の施設利用の検討とあったが、周辺市町村にない施設の建設を庁舎建設と同時に行う可能性があるのか知りたい
- ⑬ 庁舎建替えで多額の費用が掛かり、町の持ち出し費用があるが、その費用を確保するために町民サービスが低下することがないか。

# 与那原町公共施設等総合管理計画及び与那原町庁舎建設基本構想 パブリックコメント 実施状況報告書

---

閲覧計画 : 【与那原町公共施設等総合管理計画】  
: 【与那原町庁舎建設基本構想】

実施期間 : 平成29年7月1日（土）～8月28日（月）

閲覧場所 : 町ホームページ、町役場、上下水道庁舎、各コミュニティセンター  
各区公民館、町広報H29.7月号掲載（15日発刊）

対象者 : 全町民及び町職員

## 意見・提案 【与那原町公共施設等総合管理計画】について

- ① 公共施設等総合管理計画で述べられている目標については賛成です。公共施設は高齢者や障害者、子供たちが使用する機会が多く、災害時の避難場所に指定されているものも多いため、現有施設を維持しつつバリアフリー機能を充実させた方がよいと考えます。（とりわけコミュニティセンター）
- ② 公共施設や町営団地等の公共施設について、PPP及びPFIを積極的に活用して、効率的・効果的な施設の維持管理を推進してほしい。
- ③ 建設費補助金がある場合でも、建物を新たに造るのではなく、既存施設活用を検討する。

## 意見・提案 【与那原町庁舎建設基本構想】について

- ① 住民サービスの観点から町内に点在している行政サービス機能（図書館、生涯学習振興課、阿知利保育園、上下水道課など）を1カ所にまとめる。その後、空いた公共施設を民間事業者に賃貸するなどし、収益増を図り、住民福祉サービスの向上に充てる。
- ② 公共施設はダサイ、暗いという負のイメージを払拭し、公共施設から町の魅力を伝えるべく、設計の段階から建築デザインとの知識を有する有識者に参加してもらい、新庁舎を与那原町の象徴とする。それにより、新たな観光スポットの創出や与那原町のイメージアップにつながる。
- ③ 町民の利便性のため、新庁舎に各金融機関ATM（琉球銀行、沖縄銀行、海邦銀行、労働金庫を設置してほしい。
- ④ 新庁舎周辺に徒圏内でスーパーやコンビニ等がなければ、障がい者施設等が運営する売店や喫茶店の設置を検討してほしい。
- ⑤ 沖縄県庁にあるような県民広場的なイベントホールを確保すべきでは。展示等に使用できるほか、申告会場や選挙、住民の待ち合わせ場所としても活用できると思う。カフェなどのスペースもしくは展望室のような場所があって、くつろぎスペースがあってもおもしろい。
- ⑥ 一時的に子供が遊べるスペースを設けるといいかも。

- ⑦高台で眺めがいい立地条件を活かして、店舗があったり、ゆっくり時間を過ごせるような拓かれた訪れやすい庁舎だとより市民が親近感をもつのでは・・・。
- ⑧文書を保管するための倉庫を拡充し、適切な温湿度管理も出来る設備も整えて欲しい。
- ⑨ 来庁者用のスペースが狭く、相談用のスペースもあまり確保されていないため、来庁舎のプライバシーが守られていないように感じるときがある。新庁舎を建てる際には、そこも考慮してほしい。
- ⑩エレベーターを設置して欲しい。
- ⑪バリアフリーを考慮した施設にしてほしい。
- ⑫ 草刈り作業員専用の屋根付き休憩所の確保。現在、外の倉庫前で着替えたり、休憩したりしている。雨天時などは倉庫内やマイクロバス車庫内に避難していて不便そうである。
- ⑬非常時に医療機器使用の重症心身障害児等が充電出来るような設備を備えて欲しい。  
(想定に入っているかもしれませんが・・・)
- ⑭新庁舎内に現ひざしに代わる交流スペースを確保してほしい。
- ⑮コンビニ、ATM設置(収納率アップ?)
- ⑯庁舎のバリアフリー化(障害者雇用を促進できるように執務室のバリアフリー、来庁舎のためのバリアフリー)
- ⑰文書保管専用のスペースを確保しつつ、ペーパーレス化が行える文書管理システムを構築し、テレワークの実現やICTを活用した会議など、「働き方改革」につながるオフィスづくり。
- ⑱雨天時にも濡れずに車から乗降できる正面玄関(庁舎入口)の設置。
- ⑲基本構想のアンケートにあるように、エレベーターがなく階段も急なため、高齢者や身障者に配慮したバリアフリーの庁舎にしてほしい(視覚障害者誘導用のブロックの設置などを含む)  
総合案内の設置、庁舎案内パネルの設置(点字や外国語の印字)  
窓口業務対応課の住民待機スペースをより広くする。相談窓口対応課の設置個所は端にするなどの配慮をお願いしたい。(プライバシー保護の徹底)。  
ATMと売店の設置。
- ⑳可能であれば、窓に網戸の設置。  
十分な収納スペースの確保。文書保管専用建物の設置。  
保健室(男女別々の休憩室)の設置。
- ㉑講演会、イベント等ができるようなホールや交流スペースの設置  
講演会イベント等が開催できるスペースが設置できないか(イベントホールの設置、庁舎、ロビー、緑の広場や中庭及びステージ等の設置)
- ㉒周辺道路の拡幅改良に伴う路線バス等の停留所を設置  
庁舎の道路が拡幅される場合は、路線バスの通行が想定されることから、 庁舎直結のバス停等の交通結節機能を設置したほうがよい。

②③組合室の設置

現在設置されている組合室を引き続き確保設置する。

②④ATMの設置

②⑤駐輪場の設置

②⑦展望台の設置

与那原町が一望できる庁舎からの展望は町民に癒しを与え観光資源になりうる。

②⑧プライバシーや情報システムに留意し、時代のニーズに即した、また今後のニーズにも柔軟に対応できる庁舎を建設する必要がある。

②⑨住民の高齢化は必須なので、そこによく考慮した建設場所・手法を検討する必要がある。

③⑩現庁舎において、公文書の保存場所が地下書庫、東側プレハブ、西側プレハブ、3階書庫と複数に分かれていることから、文書の検索、保管作業において非常に効率が悪い。新庁舎では文書の保存専用として1カ所のスペースなり部屋を確保すべき。

③⑪税務課の申告、各課のパネル展などを実施している本庁舎1Fのロビーについて、新庁舎ではスペースを広げて、ゆとりを持って使用できるようにすべき。来庁舎の通り道、パネル展などでの占有面積、公共のチラシなどの配布スペースをあらかじめ計算して最低限必要な面積を確保すべき。

③⑫防災拠点施設として複合的な施設にした方がよい。災害時の拠点として、隣接する観光交流施設（避難施設）と一体利用できるような工夫が欲しい。（炊き出しができるよう給食センター、または売店や食堂といったテナントも施設内に常設できる等）。

③⑬施設に行政機能、コミュニティ機能、民泊機能を兼ねた、三世代交流施設としての複合的機能を有する庁舎となるよう、エレベーターを設置する等バリアフリー化を図って欲しい。

③⑭庁舎に隣接する形で立体駐車場を整備し、来客時の駐車スペースを増設するとともに、津波等の災害時に住民がより多く避難できるよう活用を検討して欲しい。

③⑮既存の場所での建替えとなった場合、森下もしくはオリオン通りを拡張し、大型車の従来に支障の無いよう併せて整備を検討して欲しい。

（緊急車両や、観光交流施設へのバス等のアクセス向上のため）